

イシガレイは採集できず

■イシガレイ稚魚は採集できなかった

河口、水門付近、潟湖内と調査したがイシガレイの稚魚は採集できなかった。調査時が満潮時に当たっており、稚魚が生息する場所まで入れなかった可能性もある。七北田川に面した水門付近で、ヒメハゼを採集した (Fig.1)。

■石の下の生物

干潟に転がる石の下では、様々な生物が冬越しをしている。Fig.2にはカワザンショウガイの仲間やトビムシの仲間が見られる。トビムシの仲間の個体による体色の違いが確認できる。



(Fig.1 ヒメハゼ)



(Fig.2 石の下で越冬するトビムシの仲間、
カワザンショウガイの仲間)

■カラスによるクルミの摂食行動か

導流堤のコンクリートの部分にクルミの殻が散乱していた。広瀬川の河原で、カラスがクルミを上空から落とす様子を観察したことがある。河口には、しばしばクルミが流れ着いており、カラスによる摂食行動の跡かもしれない。



(Fig.3 クルミの殻)